

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

令和 4年 3月 2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3091100010		
法人名	株式会社メディカル・ギア・エクウィPMENT		
事業所名	グループホームラフェスタ紀美野		
サービス種類	介護予防認知症対応型共同生活介護 認知症対応型共同生活介護		
所在地	和歌山県海草郡紀美野町下佐々1396-8		
自己評価作成日	令和4年3月2日	評価結果市町村受理日	令和4年4月11日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	(基本情報リンク先URLを記入)
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人カリア
所在地	大阪府泉佐野市泉ヶ丘4-4-33
訪問調査日	令和4年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

環境の良い場所で季節を感じながら、いきいきと生活を送っていただいています。家庭的な雰囲気大切に、笑いの絶えない日々が送れるように、取り組んでいます。認知症の方が、安心して地域で暮らしていけるよう地域とともに協力・助け合えるよう取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

豊かな自然・静かな環境の中で、季節を感じ穏やかに時間を過ごすことが出来るように支援され、ホーム独自の理念である「住み慣れた地域の人たちとふれあいながら毎日楽しく穏やかに過ごせるグループホーム、入居者様のペースで安心して生活できる、入居者様を中心とした思いやりのある寄りそうケアを行います」を掲げ実践されています。また、ご入居者に今何が必要かを職員みんなで試行錯誤を重ね、コロナ禍でも出来る事を考え工夫しながら日々の支援を行っています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員全員が共有できる場所に掲げ、周知を図り日々実践につなげている。	月一回の職員会議などで理念についての話し合いの場を設け、職員と共有し周知徹底されています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物での交流、地域の祭りや敬老会等への参加、ボランティアの受け入れを行っている。現在は、コロナ禍のため中止している。	コロナ禍で、地域との交流が中々行えていないが、以前は定期的なボランティアの訪問や地域行事への参加なども積極的に行っていました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域での安心声かけ訓練への参加、中学生の体験学習の受け入れ等を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回会議を行い、サービスの報告等をし、意見交換を行っている。現在は、コロナ禍のため、会議は行えていないが、文章にてお知らせしている。	基本、二ヶ月に一回会議を開催していたが、コロナ禍で会議が行えず、書面にて会議内容をお知らせしたり、電話連絡などを積極的に行い、ご意見を頂いています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から連絡を取り、協力関係を築けるよう取り組んでいる。	すぐ隣に総合福祉センターがあり、日頃より連絡を密に取れる環境下であり、感染予防具などの在庫状況などの確認連絡があるなど良好な関係が築かれています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	研修等で学ぶ機会を設けている。職員同士で話し合いながら、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	身体拘束についてのマニュアルが整備されており、定期的に研修を行うことで、職員に周知するとともに、日々身体拘束を行わないケアについての話し合いが行われ支援されています。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等を行い学ぶ機会を設け、虐待防止の徹底に努めている。		

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等を行い学ぶ機会を設けている。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行うとともに、思いや質問等を傾聴し、理解・納得を得られるようにしている。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の会話等から利用者様の意見を聞き取っている。ご家族様には面会時に日頃の様子を伝え、意見や要望を聞かせて頂いている。	玄関先に意見箱が設置されていますが、日頃からご利用者やご家族とのコミュニケーションの中で意見や要望を聴き、運営に反映できるよう取り組まれています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	職員会議や業務の中で出てきた意見・要望等を、反映させている。	コロナ禍で職員が集まって会議が中々行えない状況の中、申し送りなどを活用し意見や要望を聴き運営に反映できるよう取り組まれています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の要望や状況等を把握し、雇用形態や勤務状態等の変更を行っている。また、やりがいを持って働けるよう環境・条件の整備に努めている。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加や情報の提供を行っている。また、職員研修等で学ぶ機会を設けている。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修や会議等への参加で交流を図り、情報交換を行っている。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前での面談により、困りごとや要望等を聞き、また、入居後もその都度要望等を聞き、対応している。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安や困りごとが言いやすいような雰囲気作りを心掛け、要望を十分に傾聴し、気軽に話せる関係づくりに努めている。	
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族が何を必要としているかを見極め、その要望を取り入れた支援に努めている。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事等を一緒に行ったりと、いろいろ勉強させてもらっている。また、喜怒哀楽を共にし、一緒に支え合う関係作りを築いている。	
19	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院介助や外出等を行ってもらっている。また、いつでも面会や外出等できるように支援している。現在は、コロナ禍のため、面会等制限している。	
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている	買い物や散歩等の外出、地域での行事への参加を行っているが、現在はコロナ禍のため、制限している。	ドア越しでの面会や電話でのやり取りなど制限はありますが、コロナ禍でも馴染みの関係が継続できるよう支援されています。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの関係性を見極めながら、お互いが支え合えるような環境作りを行っている。また、孤立しないよう職員と一緒に過ごす時間を多く持っている。	
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人の様子を見に行ったり、必要に応じて連絡を取っている。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>普段からコミュニケーションをとり、思いや希望を聞いている。また、日頃の会話や行動より、その方の希望等の把握に努めている。</p>	<p>入居前のアセスメントにて思いや意向の把握を行っているが、日々のコミュニケーションからも情報収集を行い、ご本人の思いや意向の把握に努めておられます。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族等から生活歴の情報を得ている。ご本人の会話の中からも出てくる内容からも把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>介護経過記録や申し送り、カンファレンス等を通し把握に努めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人・ご家族等の意見を反映できるように作成している。カンファレンス等での意見も取り入れている。</p>	<p>事前にご本人やご家族の意向を確認しながら、職員とも連携し意見交換を行い作成されています。また、必要時には医師の意見を聞くなどチーム全体で作成し状況の変化には随時見直しを行っています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の記録用紙等に、職員全員が記入し共有している。また、見直しにも活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時々々の要望に応じて、柔軟に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの方々との交流、消防署等と協力しながら支援している。現在は、コロナ禍のため中止している。</p>		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族等の要望により、それぞれ受診されている。主治医と密に連絡をとり、必要に応じ専門医への受診も行っている。	協力医療機関より二週間に一度、先生の往診があり健康管理に努めておられました。また、入居以前のかかりつけ医にも受診でき、専門医の受診もご家族と協力しながら受診されています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	職場内に看護職員はいないが、適切な受診等が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	担当の方と連絡を取り合い、情報交換を行っている。また、相談もしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時等に説明を行うとともに、ご本人・ご家族の要望を聞き、話し合いをして共有している。	重度化や終末期については入居時に説明し理解を得ています。重度化等、状態に変化があればその都度ご家族に意思確認を行い、関連施設と連携を取り、ご本人の状態やご家族の意向に沿った支援がされています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修等で勉強会を実施し、実践につなげている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	研修や訓練の練習。コロナ禍で、消防署との避難訓練は行っていないが、職員と入居者の方々とで行っている。	火災だけでなく地震や土砂災害に対してのマニュアルも整備されており、また備蓄品のリストを作成し職員がすぐに取り出せるよう工夫がなされています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人一人の人格を考慮し、言葉使いに気を配り、笑顔で声をかけるようにしている。また、個別の話は居室にて聞くようにしている。</p>	<p>ご利用者の意見を尊重しながら、優しい声掛けでコミュニケーションを取り、また、日頃の業務中に気になった支援や言葉があれば職員会議等で話し合いを行い職員へ周知徹底がなされています。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人の意志を理解するための会話をし、納得して決定できるように心掛けている。</p>	/	/
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日その日のご本人の様子をみて、ペースやできることを判断して、希望にそえるよう配慮している。</p>	/	/
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>季節にあっているように、またご本人様の好みの色や服を選べるように支援している。</p>	/	/
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューに好みのものを取り入れたり、重箱を使うなど、目でも楽しんで頂けるようにしている。片付けは、数名の方と協力・助け合いながらしている。</p>	<p>一週間ごとに献立を考え、旬の食材を取り入れるなど季節を感じる事が出来る様工夫され、また誕生日のご利用者には好きな料理を召し上がっていただくなどご利用者と職員と一緒に食事を楽しむことが出来る様支援されています。</p>	<p>献立がご利用者やご家族にもわかるようにユニット内に掲げ、ご利用者がもっと食事に関心を持ち楽しんでいただけるようにして見てはいかがでしょうか。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分量を記録し、確認しながら、個々に合わせて摂取量が確保できるよう声かけに工夫したりなどしている。</p>	/	/

42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自己にてできる方には声かけを行い、できない方には介助し、清潔を保てるよう支援している。		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや、ご本人の様子を観察しトイレ誘導を行うことで、トイレでの排泄ができるよう支援している。	24hシートにて利用者一人ひとりの排泄状況を把握するとともに、排泄パターンを考え支援されています。また、自然排便への取り組みもされ、水分管理やファイバーを使用した取り組みがされています。	
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促した上で、はちみつ・牛乳等、工夫しながら個々の便秘予防に努めている。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	希望にそえるよう順番を考えるなど、その日の様子で臨機応変に対応している。会話をし、満足して入浴していただけるよう支援している。	基本的には週2回の入浴ですが、回数や午前・午後とご利用者の希望に出来るだけ浴えるよう対応されています。また、リフト浴も対応可能であり重度化されても入浴を楽しめるよう支援されています。	
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に自室で休んでいただいている。眠れない時は、ホットミルクを飲んで頂いたり、話を傾聴し安心していただけるよう支援している。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の情報は個々のファイルに保管し、すぐ確認できる所に配置している。服薬の効果・ご本人の様子等の情報は、職員間で共有するよう努めている。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役に立ちたい・手伝いたいという気持ちに添えるよう、家事に取り組んでいただいている。花を育てたり、体操・散歩等で楽しみ気分転換できるように支援している。		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>コロナ禍でご家族様との外出は制限しているので、職員と個別に馴染みの地域をドライブ・施設周辺を散歩等の支援を行っている。</p>	<p>コロナ禍で外出支援が難しい状況の中、週一回のドライブ等を行い、気分転換が行えるよう取り組み、また天気の良い日には玄関先の日陰で外気に当たりながら外の景色やご利用者同士のコミュニケーションが取れるよう支援されています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人様が管理できる方には、自分でお金を持ってもらっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の習慣のあった方には、声かけをし、希望によって電話をかけてもらっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然が多く静かな環境であり、建物内には柔らかな光が差し込んでいる。また、季節や行事に合わせた飾り付けをしている。</p>	<p>両ユニットとも天窓や大きな窓がある設計で日光が差し込み、明るく温かい雰囲気の中で穏やかに過ごされています。また、リビングの奥には畳の間があり、ちょっと横になりたい時にくつろげ家に居るような感じがしました。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングソファや玄関ソファ、食卓で過ごしたりと、落ち着ける場所を持たれている。友人・知人同士で過ごしたりできるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人様・ご家族が相談し、馴染みのある家具やテレビ等を置かれている。写真や絵・カードを飾ったりと好きな物を置かれている。</p>	<p>使い慣れた家具を持ち込んだりと以前の生活環境とあまり変化することなく快適に過ごされています。また、居室の奥には三畳の畳があり、リビングだけでなく居室でもくつろげる工夫がされています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーや手すりの設置を行い、安全な環境作りに取り組んでいる。その方に合わせ、部屋やトイレの場所が混乱しないような工夫を行っている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない